

-MOBARA MOTOWEST GP Rd. 5 -

(Text:S.Tomimoto Photo: N.Hara)



- 3年連続チャンピオンの Team ドルフィンが落ち着いたレース運びで接戦を制す！ -

レースレポート

11月22日に茂原ツインサーキットで開催されたMOBARA MOTOWEST-GP最終戦には久々のエントリーとなるチームを含めて9チームが出走した。ポールポジションを獲得したのは2020年F1クラスチャンピオンのNo.56 teamTRS (小沼・富本組)、久々のF4クラスながらレコードに0.3秒に迫るタイムを記録した。2番手にはF4クラスのディフェンディングチャンピオンNo.1 Team ドルフィン (安田・逸見組)、3番手には茂原には数年ぶりのエントリーとなるがチャンピオン経験者でもあるNo.9 COWSPACE② (牛山・林組)となった。

決勝ではスタートを決めホールショットを奪った Team ドルフィンと temTRS が序盤から後続を突き放しテール・トゥ・ノーズのバトルを展開、少し遅れてCOWSPACE②とNo.3 Team 赤蜻蛉 (粕谷・菊池組)が3位争いを繰り広げるが Team 赤蜻蛉は落車時に働くキルスイッチが抜けてしまい停止してしまう。終始背後からプレッシャーをかけ続けられるもミスせず付け入る隙を与えなかった Team ドルフィンがそのまま優勝し2020年のチャンピオンとなった。4位にはスピンで大きく後退してしまったNo.53 パワーパイプ RT (鈴木・黒米組)、No.25 ガンダレーシングアツギ (清野・小林組)、レースに復帰した Team 赤蜻蛉、中学生パッセンジャーとしてデビューレースとなったNo.8 COWSPACE① (埴田・林組)、No.13 RT グリーンピース (大木・中西組)、までが完走。No.5 コンビネーション RT (渡辺・秋山組)はマシントラブルによりリタイアとなった。

